



## 2023年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年10月31日

上場会社名 株式会社 ジェイテック  
 コード番号 2479 URL <http://www.j-tec-cor.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藤本 彰

問合せ先責任者 (役職名) 経営企画室長 (氏名) 西田和弘

TEL 03-6228-6463

四半期報告書提出予定日 未定

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年3月期第2四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	1,578	10.5	34		62	816.3	31	
2022年3月期第2四半期	1,427	4.4	130		6	785.3	1	

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 34百万円 ( %) 2022年3月期第2四半期 18百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	4.01	
2022年3月期第2四半期	0.15	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第2四半期	1,927	959	49.8	120.91
2022年3月期	1,981	932	47.1	117.52

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 959百万円 2022年3月期 932百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		0.00		1.00	1.00
2023年3月期					
2023年3月期(予想)				1.00	1.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,500	17.0	140		155	32.0	93	54.3	11.72

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期2Q	8,572,400 株	2022年3月期	8,572,400 株
期末自己株式数	2023年3月期2Q	636,300 株	2022年3月期	636,300 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期2Q	7,936,100 株	2022年3月期2Q	7,888,538 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(会計方針の変更) .....	8
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症のワクチン接種の進行で行動制限等が段階的に緩和され、経済活動は徐々に正常化が進みました。景気に緩やかな回復傾向があり持ち直す動きが見られる一方、新たな変異株の出現による感染再拡大への強い懸念が継続、海外においてはロシアによるウクライナ侵攻の影響の長期化や急激な為替変動による資源価格や原油価格、物価の高騰等も重なり、依然として景気の先行き不透明な状況が続いております。

このような環境の中、当社グループの主力事業である技術職知財リース事業においては、当社顧客の需要動向等がコロナ影響前の水準に戻ってきており、テクノロジストの稼働状況は回復方向で進んでおります。営業活動への注力と教育環境の強化で、高付加価値業務への配属やローテーション等の施策によるテクノロジストの平均単価の上昇に努めました。

売上高は若干の予想未達となりましたが、利益面では、全社的なコスト削減活動や新卒テクノロジストの順調な稼働開始等も相俟って、予想を上回る結果となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高1,578,408千円（前年同期比10.5%増）、営業利益34,734千円（前年同期は130,890千円の営業損失）、経常利益62,723千円（前年同期比816.3%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益31,801千円（前年同期は1,219千円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### ① 技術職知財リース事業

当第2四半期連結累計期間は、労働工数が増加し、平均単価が上昇したことにより、売上高は1,561,389千円（前年同期比10.7%増）、セグメント利益は210,831千円（前年同期比268.6%増）となりました。

#### ② 一般派遣及びエンジニア派遣事業

当第2四半期連結累計期間は、コロナ渦の影響を受け前期同様に長く休止した業務もあり、売上高は17,019千円（前年同期比1.4%減）と横ばいに推移し、販売費及び一般管理費を大幅に削減した結果、セグメント利益は4,193千円（前年同期は10,903千円のセグメント損失）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は1,927,559千円となり、前連結会計年度末より54,234千円の減少となりました。これは主に現金及び預金の減少57,063千円によるものであります。

負債合計は967,977千円となり、前連結会計年度末より81,132千円の減少となりました。これは主に長期借入金の返済による減少55,242千円によるものであります。

純資産合計は959,581千円となり、前連結会計年度末より26,898千円の増加となりました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益の計上31,801千円によるものであります。

この結果、自己資本比率は49.8%と前連結会計年度末の47.1%に比べ2.7ポイント上昇いたしました。

## ② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ57,063千円減少（前年同期は100,590千円の減少）し、1,227,464千円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

## （営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果、得られた資金は4,721千円（前年同期は27,735千円の支出）となりました。これは主に、法人税等の支払額44,763千円等により資金の減少があったものの、税金等調整前四半期純利益62,723千円及び預り金の増減額14,038千円等により資金が増加したことによるものであります。

## （投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果、得られた資金は1,332千円（前年同期は21,936千円の収入）となりました。これは主に、敷金及び保証金の差入による支出382千円、有形固定資産の取得による支出1,410千円があったものの、敷金及び保証金の回収による収入3,125千円により資金が増加したことによるものであります。

## （財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果、使用した資金は63,118千円（前年同期は94,790千円の支出）となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出55,242千円等により資金が減少したことによるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の連結業績予想につきましては、2022年6月29日の「（訂正・数値データ訂正）「2022年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）」の一部訂正に関するお知らせ」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,284,527	1,227,464
受取手形、売掛金及び契約資産	434,520	451,939
電子記録債権	3,149	5,307
仕掛品	43	744
その他	72,470	66,136
流動資産合計	1,794,711	1,751,591
固定資産		
有形固定資産	54,033	51,622
無形固定資産	1,084	849
投資その他の資産		
敷金及び保証金	55,183	50,777
繰延税金資産	70,464	66,765
その他	6,315	5,951
投資その他の資産合計	131,964	123,495
固定資産合計	187,081	175,967
資産合計	1,981,793	1,927,559
<b>負債の部</b>		
流動負債		
1年内返済予定の長期借入金	110,124	108,448
未払金	116,953	93,972
未払費用	45,636	48,323
未払法人税等	55,492	31,478
未払消費税等	51,339	51,661
賞与引当金	170,363	170,227
その他	9,451	25,390
流動負債合計	559,360	529,501
固定負債		
長期借入金	259,605	206,039
退職給付に係る負債	230,144	232,437
固定負債合計	489,749	438,476
負債合計	1,049,109	967,977
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	261,834	261,834
資本剰余金	248,548	248,548
利益剰余金	534,273	558,138
自己株式	△96,946	△96,946
株主資本合計	947,709	971,575
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,841	3,596
退職給付に係る調整累計額	△18,868	△15,591
その他の包括利益累計額合計	△15,026	△11,994
純資産合計	932,683	959,581
負債純資産合計	1,981,793	1,927,559

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
売上高	1,427,846	1,578,408
売上原価	1,153,676	1,155,378
売上総利益	274,170	423,029
販売費及び一般管理費	405,061	388,294
営業利益又は営業損失(△)	△130,890	34,734
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	191	78
受取補償金	386	—
助成金収入	110,123	27,996
投資有価証券売却益	27,900	—
その他	196	707
営業外収益合計	138,798	28,782
営業外費用		
支払利息	1,062	794
営業外費用合計	1,062	794
経常利益	6,845	62,723
税金等調整前四半期純利益	6,845	62,723
法人税、住民税及び事業税	16,474	27,115
法人税等調整額	△8,409	3,806
法人税等合計	8,065	30,922
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△1,219	31,801
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△1,219	31,801

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	△1,219	31,801
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△20,534	△245
退職給付に係る調整額	3,045	3,277
その他の包括利益合計	△17,488	3,032
四半期包括利益	△18,708	34,834
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△18,708	34,834
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—



## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	6,845	62,723
減価償却費	2,656	4,054
株式報酬費用	4,993	—
受取利息及び受取配当金	△191	△79
支払利息	1,062	794
受取補償金	△386	—
助成金収入	△110,123	△27,996
投資有価証券売却損益 (△は益)	△27,900	—
賞与引当金の増減額 (△は減少)	23,369	△136
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	11,130	5,570
売上債権の増減額 (△は増加)	△36,453	△19,589
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△542	△700
未払金の増減額 (△は減少)	△17,050	△23,040
未払費用の増減額 (△は減少)	9,882	2,687
未払消費税等の増減額 (△は減少)	2,954	321
預り金の増減額 (△は減少)	706	14,038
その他	9,013	3,502
小計	△120,032	22,152
利息及び配当金の受取額	191	79
利息の支払額	△1,183	△742
補償金の受取額	386	—
助成金の受取額	110,123	27,996
法人税等の支払額	△25,851	△44,763
法人税等の還付額	8,629	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	△27,735	4,721
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△10,156	△1,410
投資有価証券の売却による収入	29,893	—
敷金及び保証金の差入による支出	△12,169	△382
敷金及び保証金の回収による収入	14,786	3,125
長期前払費用の取得による支出	△418	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	21,936	1,332
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入金の返済による支出	△89,798	△55,242
配当金の支払額	△7,760	△7,876
自己株式の処分による収入	2,767	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△94,790	△63,118
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△100,590	△57,063
現金及び現金同等物の期首残高	1,363,429	1,284,527
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,262,839	1,227,464

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間（自2021年4月1日至2021年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 1
	技術職知財 リース事業	一般派遣及び エンジニア 派遣事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,410,591	17,255	1,427,846	—	1,427,846
セグメント間の内部売上高又は 振替高	—	3,071	3,071	△3,071	—
計	1,410,591	20,327	1,430,918	△3,071	1,427,846
セグメント利益又は損失(△)	57,195	△10,903	46,291	△177,182	△130,890

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額(△177,182千円)の主なものは、親会社本社の管理部門に係る費用であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間（自2022年4月1日至2022年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 1
	技術職知財 リース事業	一般派遣及び エンジニア 派遣事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,561,389	17,019	1,578,408	—	1,578,408
セグメント間の内部売上高又は 振替高	—	3,151	3,151	△3,151	—
計	1,561,389	20,170	1,581,559	△3,151	1,578,408
セグメント利益	210,831	4,193	215,025	△180,290	34,734

(注) 1. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. セグメント利益の調整額(△180,290千円)の主なものは、親会社本社の管理部門に係る費用であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。